



2025年3月期 通期業績説明及び 経営方針説明資料

(2024年4月1日～2025年3月31日)

2025年5月8日

Really! Mad+Pure

エイバックス株式会社
東証プライム:7860

1

連結業績

Financial Highlights

Topics

Da-iCE
「Da-iCE ARENA TOUR 2025
-EntranCE-」



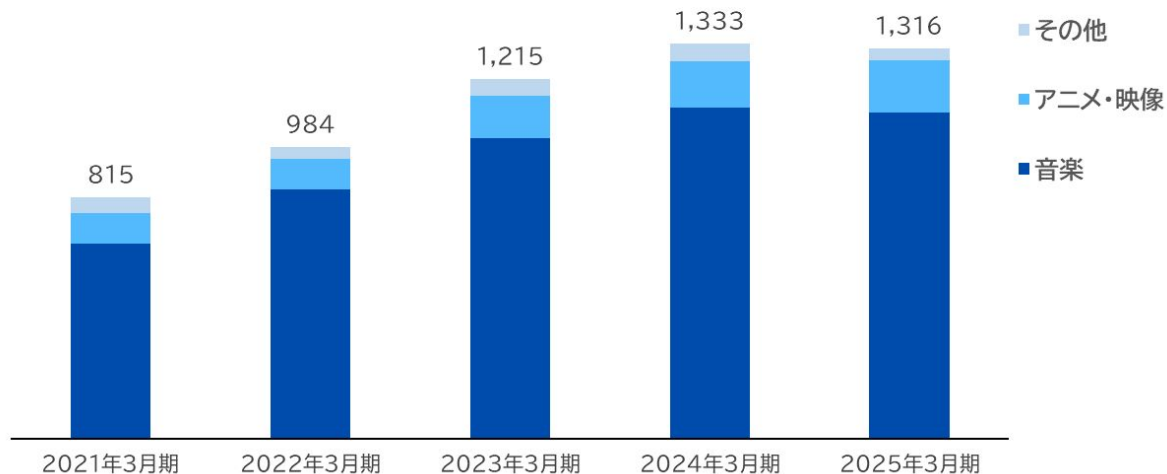
一部取引先に対する貸倒引当金繰入額の計上、アジア・中東地域における現地事業の収益減少に加え、前期に収益計上した映像配信事業における受託業務の終了等の影響により、減収減益

(百万円)	2024年3月期	2025年3月期	前年同期比	増減率	ご参考: 2025年3月期 業績予想 (2月13日開示)	
					業績概要	
売上高	133,387	131,691	△1,695	△1.3%	—	✓ 大型作品のリリース減少等により減収
営業利益	1,265	△1,819	△3,084	—	△1,800	✓ 一部取引先に対して貸倒引当金繰入額を計上したことや、アジア・中東地域における現地事業の収益悪化、加えて前期に収益計上した映像配信事業における受託終了の影響により、営業利益は減益
親会社株主に 帰属する 当期純利益	987	1,138	+151	+15.4%	1,800	✓ 当期純利益は、1Qおよび2Qに子会社株式を譲渡(24年3月21日、6月21日開示)したことにより増益

アニメ・映像事業が増収となったものの、音楽事業が減収となったことにより連結売上高は微減

連結売上高推移

(億円)



注: グラフ内の各売上高は内部売上高を各セグメントに按分し消去した参考値

連結損益計算書

アジア・中東現地事業における収益性の悪化、映像配信事業における受託終了の影響により売上総利益率が減少、加えて一部取引先に対して貸倒引当金繰入額を計上したこと等により一般経費が増加し、営業利益は赤字にて着地

(百万円)	2024年3月期	2025年3月期	前年同期比	増減率
売上高	133,387	131,691	△1,695	△1.3%
売上原価	94,097	95,852	+1,754	
売上総利益	39,289	35,839	△3,450	△8.8%
売上総利益率	29.5%	27.2%	△2.3pt	
人件費	13,421	12,659	△762	
販促宣伝費	8,049	7,913	△135	
一般経費	16,553	17,085	+531	
販管費合計	38,024	37,658	△366	
営業利益	1,265	△1,819	△3,084	—
営業利益率	0.9%	—	—	

音楽事業において、一部取引先に対する貸倒引当金繰入額の計上、映像配信事業における受託終了等の影響により減益。アニメ・映像事業においては、映画作品の興行が好調であったことにより増収増益

セグメント売上高

(百万円)	2024年3月期	2025年3月期	前年同期比	増減率
音楽事業	115,938	114,574	△1,364	△1.2%
アニメ・映像事業	16,118	18,492	+2,374	+14.7%
その他事業	6,271	4,109	△2,161	△34.5%
消去+全社	△4,941	△5,485	△543	—
合計	133,387	131,691	△1,695	△1.3%

セグメント営業利益

(百万円)	2024年3月期	2025年3月期	前年同期比	増減率
音楽事業	1,596	△1,180	△2,776	—
アニメ・映像事業	△17	299	+316	—
その他事業	△312	△939	△627	—
消去+全社	△1	0	+2	—
合計	1,265	△1,819	△3,084	—

注: 2025年3月期においてGMF(グループ運営負担金)の配賦方法および金額を見直しており、前年度の各セグメント営業利益は現在の配賦方法および金額に合わせて一部遡及修正している

大型作品のリリース減少等により減収

(百万円)	2024年3月期	2025年3月期	前年同期比	増減率
音楽事業 売上高	115,938	114,574	△1,364	△1.2%
ライブ	44,375	45,571	+1,195	+2.7%
マーチャンダイジング	6,772	7,465	+693	+10.2%
マネジメント	7,974	9,706	+1,731	+21.7%
音楽パッケージ	24,723	21,445	△3,278	△13.3%
音楽配信	13,007	13,909	+901	+6.9%
音楽出版	2,927	3,214	+286	+9.8%
E-コマース	15,305	16,535	+1,230	+8.0%
ファンクラブ	1,329	1,585	+256	+19.3%
その他	9,845*	8,172	△1,673	△17.0%
営業利益	1,596	△1,180	△2,776	—
営業利益率	1.4%	—	—	—

		2024年3月期	2025年3月期	前年同期比
ライブ 概況	公演数合計(公演)	1,265	1,132	△133
	スタジアム	32	32	+0
	アリーナ	129	174	+45
	ホール/ライブハウス	1,104	926	△178
	動員数(万人)	344	318	△26
	チケット平均単価(円)	12,851	12,782	△69
音楽 パッケージ 概況	アルバム 単価(円)	2,615	2,950	+335
	枚数(千枚)	4,146	5,486	+1,340
	シングル 単価(円)	1,080	1,161	+81
	枚数(千枚)	6,165	4,669	△1,496
	DVD/Blu-ray 単価(円)	5,409	6,164	+755
	枚数(千枚)	2,256	904	△1,352

注3: ライブ概況の公演数・動員数・単価は当社受託制作公演を含み、オンラインライブ・舞台・イベント等は除く

注4: 音楽パッケージ概況の単価及び枚数は新譜のみ(販売受託分を含む)

※: 旧デジタル事業にて計上していたエイベックス通信放送株式会社の運営業務の受託収入12.6億円を含む(2023年6月末で終了)

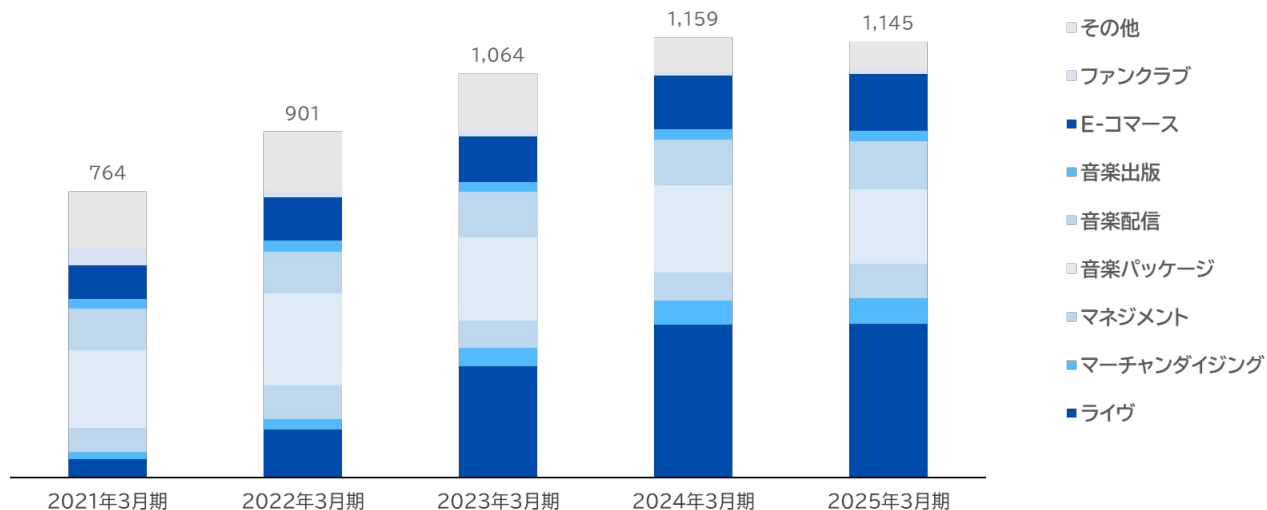
注1: 各サブセグメント売上高はサブセグメント内取引を未消去

注2: 2025年3月期においてGMF(グループ運営負担金)の配賦方法および金額を見直しており、前年度の各セグメント営業利益は現在の配賦方法および金額に合わせて一部遡及修正している

大型作品のリリース、ライブ公演が実施された前期売上高を下回るものの、一昨年を上回る水準で推移

音楽事業 売上高推移

(億円)

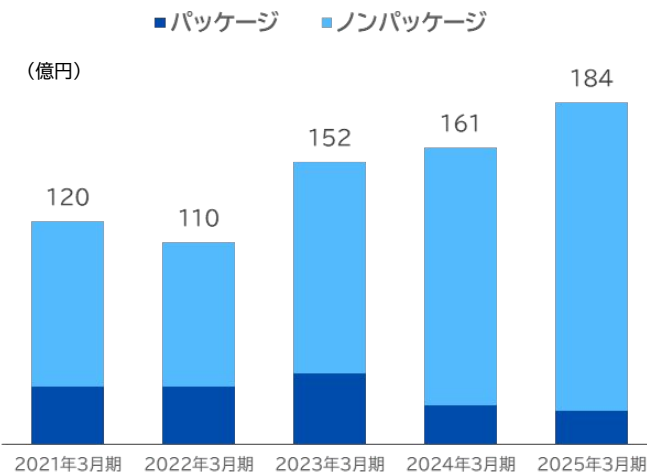


注: 「その他」サブセグメントには、旧デジタル事業にて計上していた映像配信収入およびエイバックス通信放送株式会社の運営業務の受託収入(2023年6月末で終了)を含めている

映画作品の興行が好調に推移したことにより、増収増益

(百万円)	2024年3月期	2025年3月期	前年同期比	増減率
アニメ・映像事業 売上高	16,118	18,492	+2,374	+14.7%
パッケージ	2,158	1,835	△323	△15.0%
ノンパッケージ	13,960	16,657	+2,697	+19.3%
営業利益	△17	299	+316	—
営業利益率	—	1.6%	—	—

アニメ・映像事業 売上高推移



注1: ノンパッケージ売上には製作委員会分配金、映画配給、イベント・ライブ等を含む

注2: 各サブセグメント売上高はサブセグメント内取引を未消去

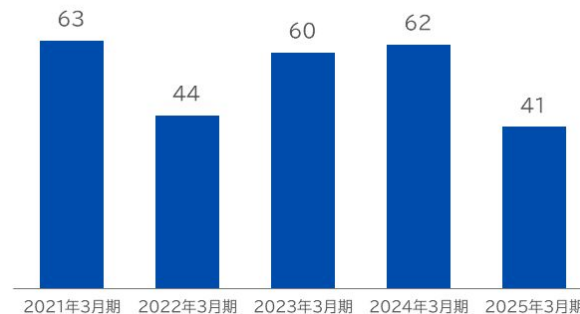
注3: 2025年3月期においてGMF(グループ運営負担金)の配賦方法および金額を見直しており、前年度の各セグメント営業利益は現在の配賦方法および金額に合わせて一部遡及修正している

アジア・中東地域での現地事業において、前期に実施したサウジアラビアでの大型イベントの減少や、その他案件の獲得が未達となり、大幅に減収減益

(百万円)	2024年3月期	2025年3月期	前年同期比	増減率
その他事業 売上高	6,271	4,109	△2,161	△34.5%
営業利益	△312	△939	△627	—
営業利益率	—	—	—	—

その他事業 売上高推移

(億円)



注: 2025年3月期においてGMF(グループ運営負担金)の配賦方法および金額を見直しており、前年度の各セグメント営業利益は現在の配賦方法および金額に合わせて一部遡及修正している

2026年3月期 通期連結業績予想

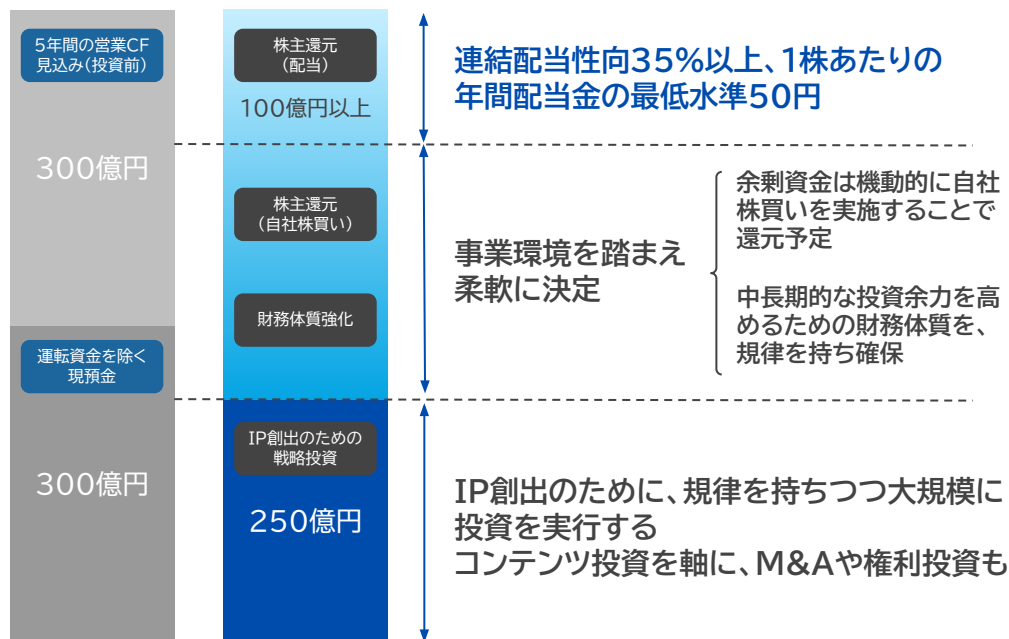
2026年3月期の業績予想は営業利益30億円、当期純利益12億円と設定。配当性向35%、最低年間配当50円は維持

(百万円)	2025年3月期 (実績)	2026年3月期 (予想)	前年同期比	増減率
売上高 (参考値)	131,691	-	-	-
営業利益	△1,819	3,000	+4,819	-
親会社株主に 帰属する当期純利益	1,138	1,200	+61	+5.4%
年間配当金 (円)	50	50	±0	-

キャピタル・アロケーションの状況

配当方針に従い、最低配当金50円は継続しつつ、前期は総額43億円の大型の自社株買いを実行
 今後は、より一層グローバルで活躍するIPへの投資を積極的に実施し、事業の拡大に注力

中計公表時計画(目標数値見直し前)



これまでの状況

- ✓ 最低配当50円を継続
(23年3月期～25年3月期 総額約66億円)
- ✓ 総額43億円の自己株式取得を実施
(24年5月～24年12月取得完了)
- ✓ グローバルを見据えたIP開発のための投資を継続するほか、桜新町「avex Youth」スタジオの設立、S10の子会社化等の投資を実行
- ✓ 子会社4社の株式を譲渡し、事業ポートフォリオを見直し

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

ROEは本社ビル売却による影響を除き、株主資本コストを下回る水準が継続
中長期での成長に向けた事業戦略と資本コスト抑制の取り組みにより、企業価値を向上

現状評価

対応方針

PBRは1倍を上回るものの、
ROEは株主資本コストを下回る水準が継続

PBR
(倍)



ROE・
株主資本
コスト(%)



事業戦略

- ・グローバルIPの創出を最優先としつつ、IP価値を最大化する主力事業、M&A等を活用した戦略的権利取得の推進
- ・収益性の改善に向けた全社的な構造改革の実行

※「2. 中長期的な成長に向けて」ご参照

資本・財務戦略

- ・株主還元等、資本収益性を高める施策の実行
- ・統合報告書等を通じた非財務情報を含む開示の充実
- ・ステークホルダーとの対話の推進

2

中長期的な成長に向けて

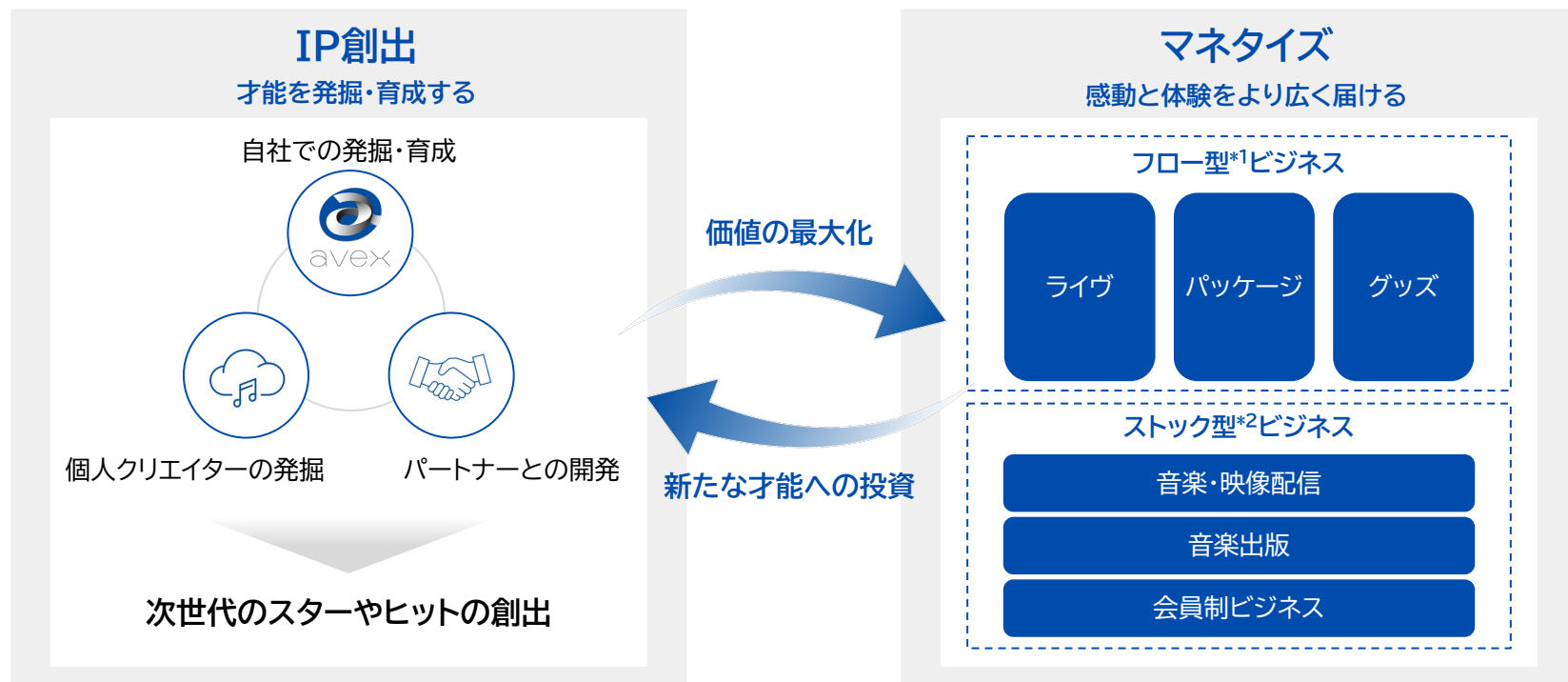
Towards Mid- to Long-term Growth

Topics

XG ※from XGALX
“Coachella Valley Music and Arts
Festival” Sahara Stage



才能を発掘・育成(IP創出)し、その価値を最大化するビジネス 近年は特にグローバルを見据えたIP創出に注力

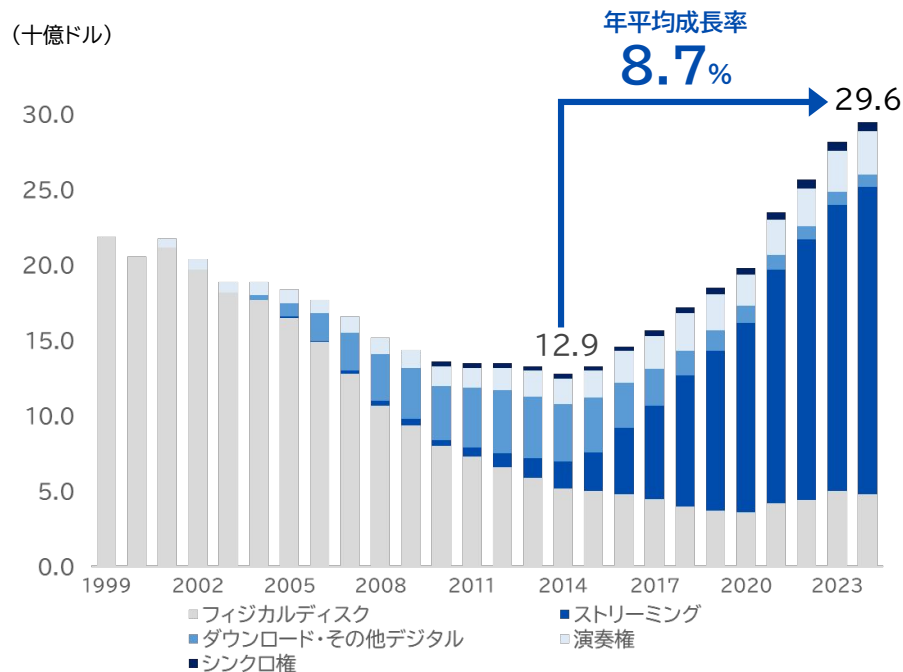


※1: 「フロー型」とは、ライブ公演におけるチケット収入や、パッケージ商品の販売、グッズ販売といった収入を指す

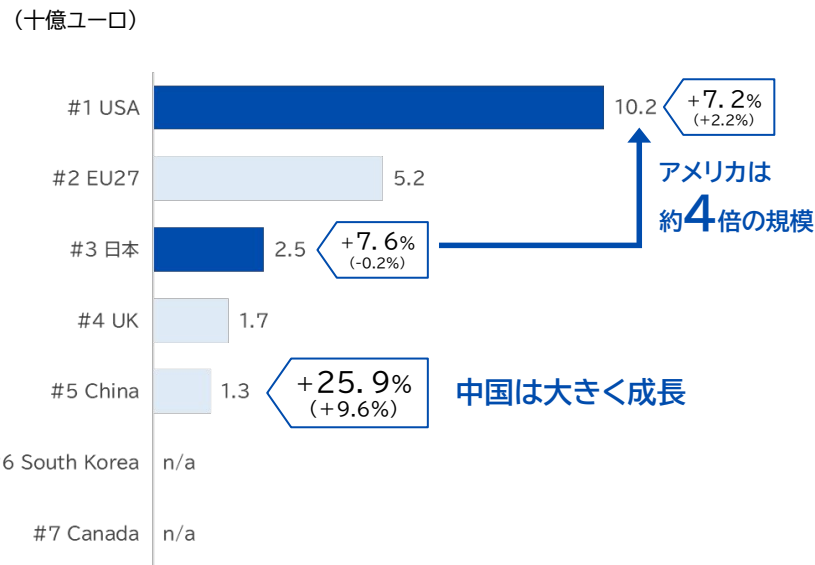
※2: 「ストック型」とは、音楽・映像配信サービスからの月額収入、音楽関連著作権収入、ファンクラブ会員収入等、継続的に得られる収入を指す

音楽市場は海外を中心に成長を継続しており、事業ポテンシャルは高い

世界の録音原盤市場 (1999-2024)



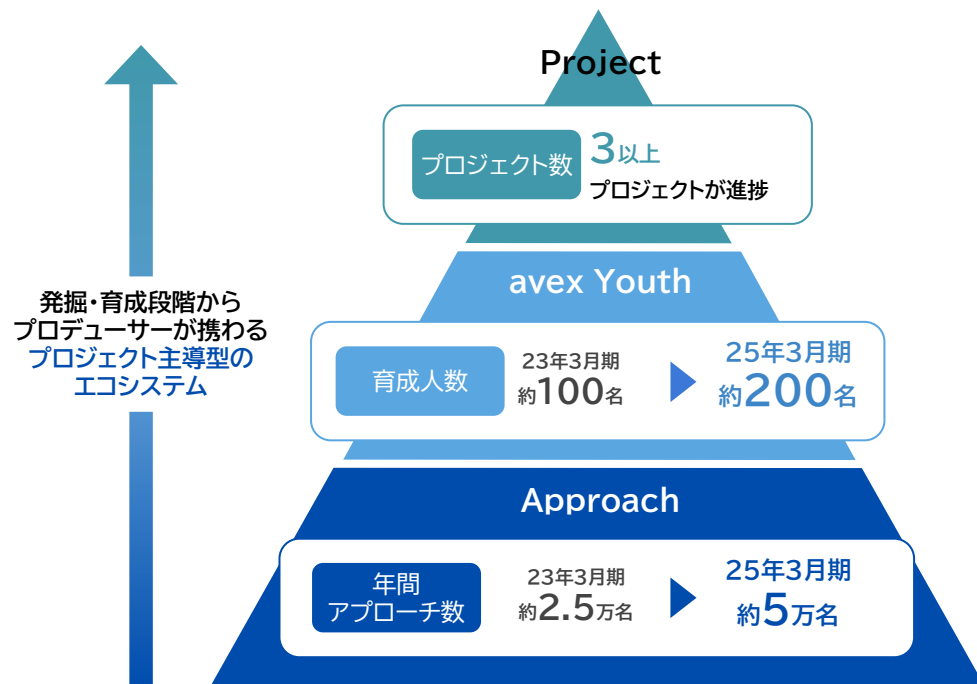
地域別 録音原盤市場(2023)



グローバルを見据えたIPの発掘・育成体制の強化

グローバルを目指す発掘・育成体制は強化が進み、継続的なIP創出へ

発掘・育成組織「avex Youth」



グローバルIPへの投資状況

XGALX Project*
※from JAKOPS



次世代Project



WARPs Project

New Project

今期複数デビュー予定

グローバルにおけるバリューチェーン構築

IPの価値最大化においても、当社独自の強みを持つ形でバリューチェーン構築が進む

クリエイティブ・プロモーション

 米拠点のネットワークを
活用した第一線チームとの
連携・戦略形成

海外公演

 米AEG Presentsとの
共同事業“AEGX”に
よるワールドツアー制作

音楽配信

グローバルDSP/有力ローカル
DSPとの契約・提携強化

海外EC

 自社EC販路の
グローバル化、
大規模リプレイス(予定)

ファンクラブ

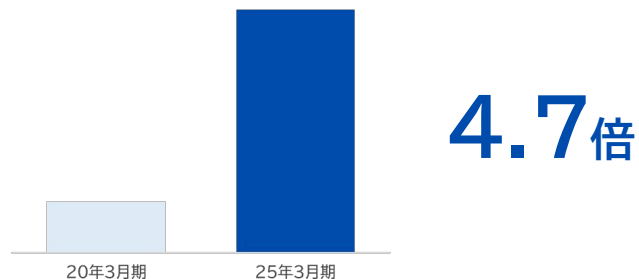
 グローバル
ファンクラブ展開

グッズ

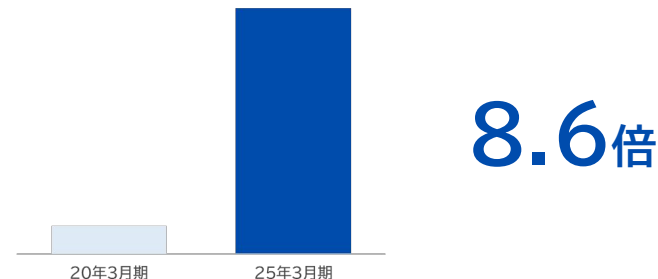
 海外公演における
グッズの現地製造

この5年で海外売上は大幅に拡大し、これまでにない実績が生まれている

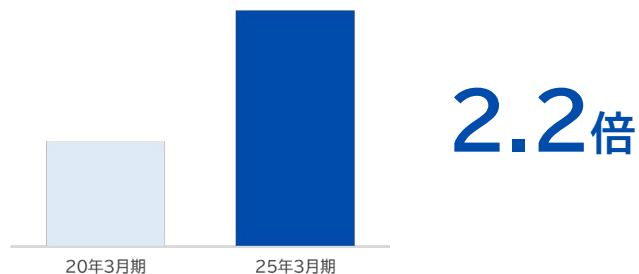
ライブ公演 海外動員数



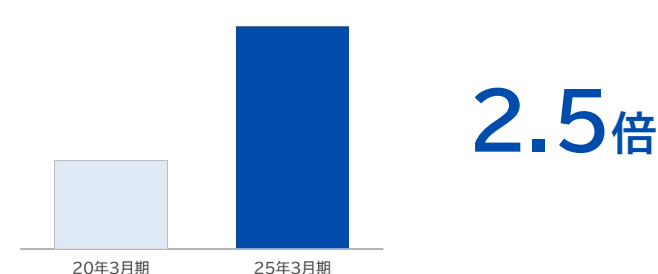
グッズ・パッケージ商品 海外売上高



音楽ストリーミング 海外売上高



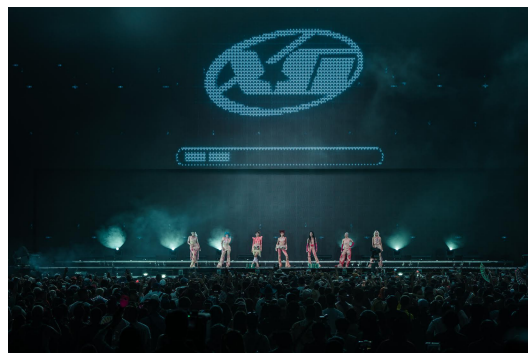
音楽出版 海外売上高



1stワールドツアーを筆頭に、グローバルでの活動を拡大



世界35都市を回る
1stワールドツアーの最終公演として
東京ドーム公演が決定



アメリカ最大級音楽フェス
『Coachella』にトリとして出演
Saharaステージのトリをつとめるのは
日本人アーティストとして初

約**40万人**
1stワールドツアー動員数

約**85%**
SNSフォロワー海外比率

1,200万人超
SNSフォロワー人数

事例②:主要アーティストの海外展開

新たなIPの成長とともに、主要アーティストの海外展開も拡大

「ONE OR EIGHT」の成長



TikTok: 870,000
YouTube: 750,000
Instagram: 500,000

SNSフォロワー海外比率

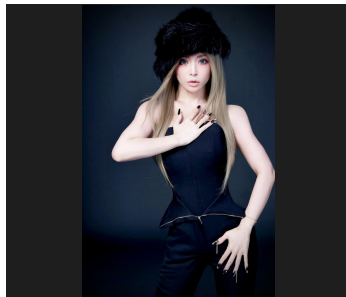
70%

2025年4月

グローバルメジャー契約締結

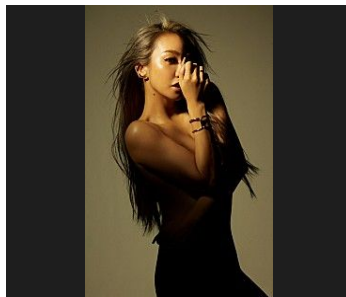
注: 各SNSの数値は2025年4月末時点のフォロワー数

主要アーティストの海外展開



浜崎あゆみ

2024年、16年ぶりとなるアジアツアー開催
上海メルセデス・ベンツアリーナ
海外アーティスト史上最大の観客動員記録



倅田來未

中国最大級の野外音楽フェスティバル
「2025年北京スーパーストロベリー・ミュージック・フェスティバル」
ほか、台湾、広東省東莞(とうかん)市のアジア大型フェスに初出演

その他、新規アーティストの海外展開も拡大

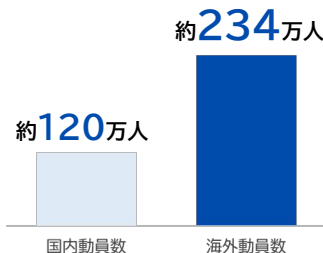
アニメ作品においても、グローバルへの展開が進む

映画「ルックバック」(2024年6月公開)



© 藤本タツキ／集英社 © 2024「ルックバック」製作委員会

- ✓ 国内で約**120**万人の大ヒット
- ✓ さらに海外では、約**2**倍の動員を達成



- ✓ Prime Video(Amazon)による**世界配信**

TVアニメ「ガチアクト」(2025年7月より放送開始)



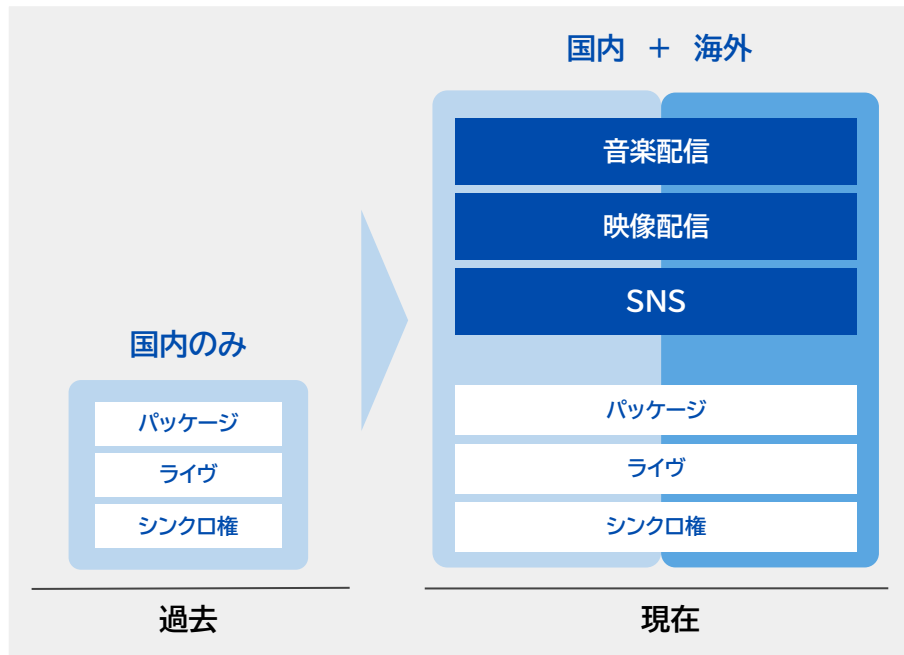
© 裏那圭・晏童秀吉・講談社／「ガチアクト」製作委員会

2025年7月
CBC/TBS系全国28局ネット
「アガルアニメ」枠にて放送開始

テレビ放送と同時に、
グローバル配信が決定

「ストック型」としてのカタログビジネスは ストリーミングサービスの発展により拡大

マネタイズ手法の多様化



配信市場におけるカタログの可能性

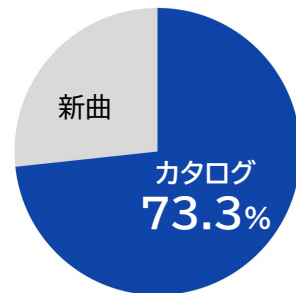
音楽配信市場：成長予測

世界市場規模

CAGR 4.9%
(2025-2029)

音楽配信サービスユーザー

7.5億人 → 12億人
(2024) (2029予測)

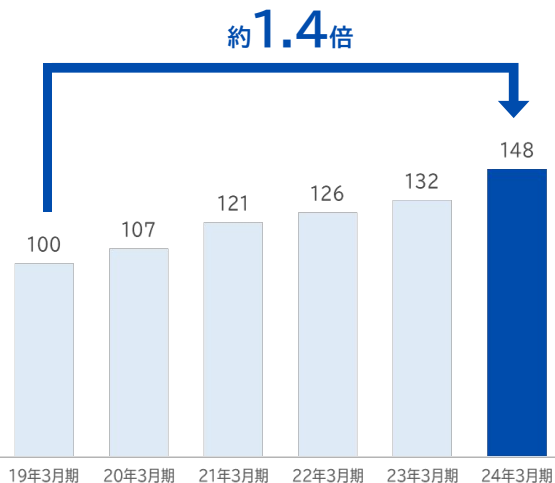


米国では、
音楽配信サービス上で
聞かれている楽曲の
7割以上がカタログ
(リリースから18ヵ月以上)

当社においても、カタログ資産の価値が拡大 権利価値を最大化しうる企業として、国内外のM&A等も含め戦略的に権利獲得を推進

カタログ収入の増加

2018年3月期以前リリース楽曲
配信収入推移(19年3月期=100とした場合)



注: 2024年3月期において売上高100万円以上の楽曲

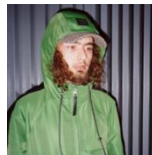
権利拡大に向けた取り組み

グローバルヒットメーカーとの
音楽出版契約締結



Harv

Justin Bieber
“Peaches ft. Daniel
Caesar, Giveon”



GENT!

Doja Cat
“Agora Hills”

- 出版IP保有シェアの最大化
- 所属アーティストとの協業による、グローバルトップレベルの原盤IPの構築

当社の優位性

収益機会の拡大

- ✓ グループの360度機能を活用したプロモーション
- ✓ エンタテインメント業界における様々なネットワーク

権利の保護

- ✓ 権利者への分配や権利処理機能を自社で保有
- ✓ 自社が権利者でもあるからこそ、取り扱いの熟知

権利価値の最大化
(=権利者への分配最大化)

カタログビジネスの拡大(続き)

アニメビジネスにおいても、カタログ拡大により配信事業が成長
引き続きコンテンツの拡充を進めるとともに、さらなる展開地域の拡大を目指す

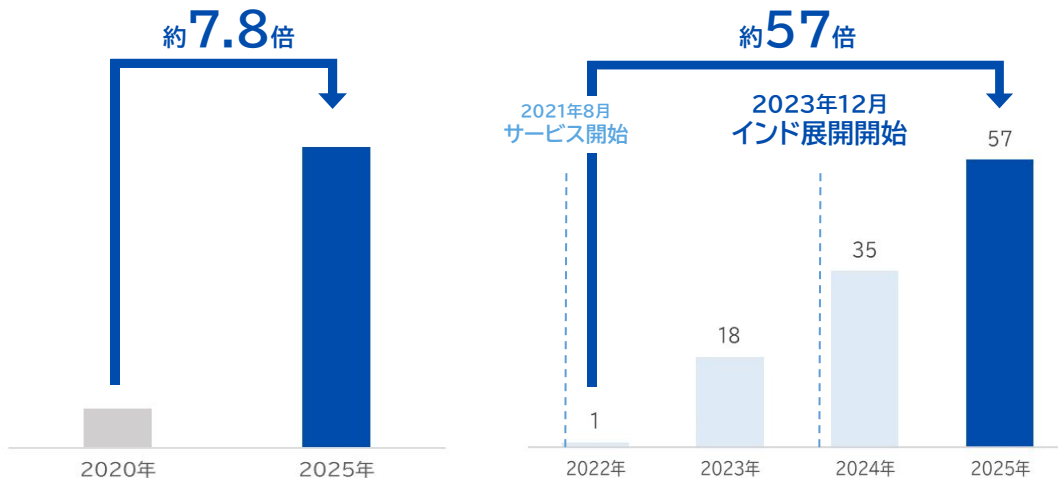
アニメタイムズの成長

新作・旧作幅広いラインナップを揃えることで、アニメタイムズの総視聴時間が増加

(株)アニメタイムズ社の総供給作品数

アニメ専門チャンネル「アニメタイムズ」
年間総視聴時間

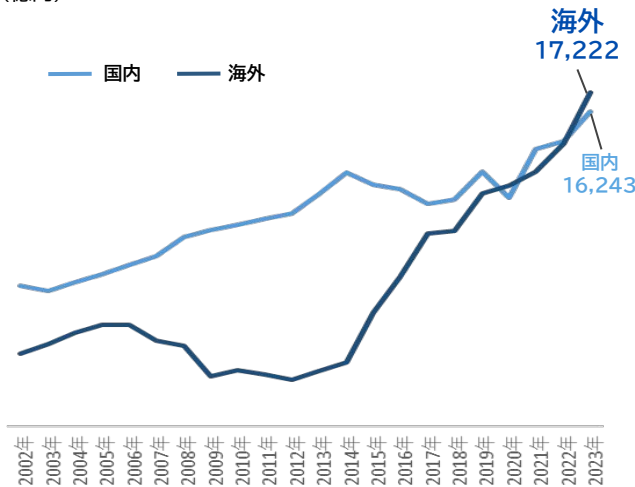
(百万時間)



拡大するアニメ市場

海外市場は国内市場を上回る勢いで拡大、
インドではアニメタイムズの配信作品数が
約1年で2倍に伸長

(億円)



グローバル展開を見据えたIP開発とバリューチェーン構築に引き続き注力 併せて、主力事業における既存パートナー/IPとのビジネス拡大と 基盤となる権利の積み上げも戦略的に推進

○ IPポートフォリオ
(アーティスト・クリエイター・作品)

IP創出

よりグローバルに
活躍できる可能性のある
IPの創出

→ ライブ・パッケージ・グッズ等
機能による収益

グローバル販路拡大による
既存パートナー/IPを含む
全社収益の最大化

収益

価値の最大化
(フロー型ビジネス)

権利の積み上げ
(ストック型ビジネス)

カタログ投資・M&A

新規権利カタログ

既存権利カタログ

時間

収益性の改善に向けた構造改革

IPへの投資を進めるとともに、収益体質への改善のため、全社的な改革に着手

課題認識

事業ポートフォリオ

事業の多角化により

- ① 間接部門コストが増加
- ② 貸倒リスクの発生

IP数の増加

投下リソースの増加/分散

物価上昇

制作原価・人件費・物流費等の増加



重点施策

事業ポートフォリオ ・IPの選択と集中

- ・ 非効率事業、ノンコア事業からの撤退
- ・ 内製化/外製化機能の見直し
- ・ 契約の見直し

コスト適正化

- ・ 費用執行/投資ルールの見直し
- ・ DXによる業務プロセスの最適化
- ・ 間接部門の見直し

ガバナンス強化

- ・ 与信管理における事前確認、取引承認、モニタリング等、取引フローの見直し
- ・ 費用執行におけるモニタリング強化

1

グローバルを見据えたIP創出は、これまでに無い実績が生まれており
引き続き最優先で注力

2

IP価値を最大化する各事業は、外部パートナーとのネットワークを強化・活用しながら、
レーベル・ライブといった主力事業に集中してリソースを投下

3

IPや事業により積み上げられる「権利」については、ストック型の安定的基盤として
国内外におけるM&A等も視野に、権利取得を戦略的に推進

4

収益体質への改善のため、全社的な構造改革を実行

Appendix.

Topics

「ルックバック」
© 藤本タツキ／集英社
© 2024「ルックバック」製作委員会



2025年3月期ハイライト

主な ニュース リリース	5月9日	プレスリリース	Avex USA、米・マネジメント会社S10 Entertainmentへの戦略投資を実施
	5月9日	IR	指名・報酬委員会の設置に関するお知らせ
	5月9日	IR	自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ(※)
	5月15日	お知らせ	代表取締役社長CEOの黒岩が米ビルボード誌「Billboard's 2024 International Power Players」に2年連続2度目の選出
	6月14日	プレスリリース	「a-nation 2024」の開催が決定！国内最大級の累計動員数を誇る夏フェスが4年ぶりの開催
	6月21日	IR	連結子会社の異動に関するお知らせ
	6月21日	IR	業績予想の修正に関するお知らせ
	8月23日	プレスリリース	漫画家・藤本タツキ渾身の青春物語 劇場アニメ『ルックバック』が100万人動員を達成 公開初日から3日間の興行収入ランキングで1位を獲得し話題に
	12月24日	IR	自己株式の取得状況及び取得終了に関するお知らせ
	12月27日	IR	統合報告書「INTEGRATED REPORT 2024」
	25年2月13日	IR	業績予想の修正に関するお知らせ
	25年2月27日	IR	当社グループ各社の組織再編及び役員の異動に関するお知らせ
	25年3月25日	お知らせ	米国アーティストマネジメント会社の持分追加取得、米国拠点の再編、米国子会社代表者（CEO）及び役員の異動に関するお知らせ
	25年5月8日	IR	役員賞与の不支給に関するお知らせ

※「自己株式の取得状況に関するお知らせ」は、毎月第1営業日に開示しております。

2025年3月期ハイライト

音楽事業

ライブ・イベント

期間	アーティスト/ジャンル	タイトル
5月～6月	NCT DREAM	2024 NCT DREAM WORLD TOUR <THE DREAM SHOW 3 : DREAM()SCAPE> in JAPAN
5月～25年5月	XG	1st WORLD TOUR “The first HOWL”
7月～8月	TREASURE	2024 TREASURE FAN MEETING～WONDERLAND～
8月～9月	WayV	2024 WayV CONCERT [ON THE Way] IN JAPAN
9月	フェス	a-nation 2024
9月	フェス	ULTRA JAPAN 2024
11月～25年3月	Nissy	Nissy Entertainment “Re:10th Anniversary Final” BEST DOME TOUR
11月～12月	2NE1	2024 2NE1 CONCERT [WELCOME BACK] IN JAPAN
11月～25年4月	東方神起	東方神起 20th Anniversary LIVE TOUR ～ZONE～
12月～25年2月	BE:FIRST	BE:FIRST DOME TOUR 2024-2025 “2:BE”
25年3月～5月	NCT 127	NCT 127 4TH TOUR ‘NEO CITY : JAPAN - THE MOMENTUM’



a-nation 2024



Nissy



東方神起

パッケージ

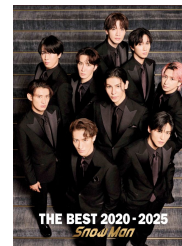
形態	発売月	アーティスト	タイトル
シングル	7月	THE RAMPAGE from EXILE TRIBE	24karats GOLD GENESIS
	7月	Snow Man	BREAKOUT / 君は僕のもの
	10月	SKE48	告白心拍数
アルバム	10月	Snow Man	RAYS
	11月	東方神起	ZONE
	11月	XG	AWE
	12月	NCT WISH	WISHFUL
	25年1月	Snow Man	THE BEST 2020 - 2025
DVD/Blu-ray	8月	Kis-My-Ft2	For dear life
	12月	岩本照・深澤辰哉・宮舘涼太	祭 GALA



SKE48



NCT WISH



Snow Man

ライブ・イベント	ジャンル	期間	タイトル
	ライブ	5月	Paradox Live Dope Show 2024
	映画	6月	ルックバック
	映画	10月	JUNGKOOK : I AM STILL
	舞台	25年1月	舞台「花郎～ファラン～」
	映画	25年1月	劇場アニメ『ベルサイユのばら』
パッケージ	形態	発売月	タイトル
	DVD/Blu-ray	4月	怪物の木こり
		4月～5月	「僕の心のヤバイやつ」第5巻・第6巻
		25年3月	バンパイアハンターD Blu-ray special collection



© 藤本タツキ／集英社 © 2024「ルックバック」製作委員会
ルックバック



©桜井のりお(秋田書店)／僕やバ製作委員会
「僕の心のヤバイやつ」



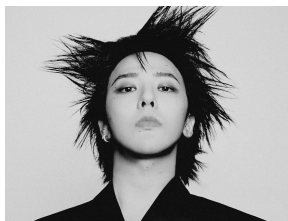
©2001 トライストーン・エンタテイメント/菊地秀行/バンパイアハンターD製作委員会
バンパイアハンターD

2026年3月期1Q以降コンテンツツハイライト

音楽事業

ライブ・イベント

期間	アーティスト/ジャンル	タイトル
24年5月～5月	XG	1st WORLD TOUR “The first HOWL”
24年11月～4月	東方神起	東方神起 20th Anniversary LIVE TOUR ～ZONE～
3月～5月	NCT 127	NCT 127 4TH TOUR ‘NEO CITY : JAPAN - THE MOMENTUM’
4月	浜崎あゆみ	ayumi hamasaki ASIA TOUR 2025 ㊦ I am ayu -ep. II -
4月～5月	TREASURE	2025 TREASURE FAN CONCERT [SPECIAL MOMENT] IN JAPAN
5月	G-DRAGON	G-DRAGON 2025 WORLD TOUR [Übermensch] IN JAPAN
5月	イベント	STAR ISLAND 2025
9月	フェス	ULTRA JAPAN 2025
10月～11月	Da-iCE	Da-iCE ARENA TOUR 2025 -EntranCE-
10月～12月	倅田來未	KODA KUMI 25th ANNIVERSARY TOUR 2025 ～De-CODE～
26年1月	BLACKPINK	BLACKPINK 2025 WORLD TOUR



G-DRAGON



倅田來未



BLACKPINK

2026年3月期1Q以降コンテンツツハイライト

音楽事業

	形態	発売月	アーティスト	タイトル
パッケージ	シングル	4月	超ときめき♡宣伝部	世界でいちばんアイドル/ひみつのふふふ
		5月	XG	MILLION PLACES
		5月	BE:FIRST	GRIT
		5月	YUTA	TWISTED PARADISE
	アルバム	4月	NCT WISH	poppop
		5月	Kis-My-Ft2	MAGFACT
		5月	TEN	Humanity
	DVD/Blu-ray	6月	Snow Man	Snow Man Dome Tour 2024 RAYS



超ときめき♡宣伝部



BE:FIRST

2026年3月期1Q以降コンテンツツハイライト

アニメ・映像事業

TV・劇場作品	ジャンル	公開開始	タイトル
	TV放送/配信	7月	TVアニメ『ガチアクタ』
	TV放送/配信	7月	TVアニメ「おそ松さん」第4期
	TV放送/配信	10月	TVアニメ「キングダム」第6シリーズ
	映画	10月	劇場版『ゾンビランドサガ ゆめぎんがパラダイス』

ライブ・イベント	ジャンル	期間	タイトル
	ライブ	4月	ひみつのアイプリ×プリパラ プリ♡プリライブ
	ライブ	6月	Paradox Live Dope Space



©裏那圭・晏童秀吉・講談社/「ガチアクタ」製作委員会
ガチアクタ



©赤塚不二夫／おそ松さん製作委員会
おそ松さん



©劇場版ゾンビランドサガ製作委員会
ゾンビランドサガ ゆめぎんがパラダイス

連結損益計算書

(百万円)	2024年3月期	2025年3月期	前年同期比	増減率
売上高	133,387	131,691	△1,695	△1.3%
売上原価	94,097	95,852	+1,754	
売上総利益	39,289	35,839	△3,450	△8.8%
売上総利益率	29.5%	27.2%	△2.3pt	
人件費	13,421	12,659	△762	
販促宣伝費	8,049	7,913	△135	
一般経費	16,553	17,085	+531	
販管費合計	38,024	37,658	△366	
営業利益	1,265	△1,819	△3,084	—
営業利益率	0.9%	—	—	
営業外収益	337	442	+104	
営業外費用	465	327	△137	
経常利益	1,137	△1,703	△2,841	—
特別利益	2,031	6,486	+4,454	
特別損失	404	1,020	+615	
税金等調整前当期純利益	2,764	3,762	+997	+36.1%
法人税等	1,584	2,420	+835	
非支配損益	193	203	+10	
親会社株主に帰属する当期純利益	987	1,138	+151	+15.4%

連結貸借対照表及び連結キャッシュ・フロー計算書

連結貸借対照表

(百万円)	2024年3月末	2025年3月末
資産の部		
流動資産	86,463	77,774
現金・預金	47,075	35,690
売掛金等	22,700	22,952
棚卸資産	4,502	4,910
その他	12,184	14,221
固定資産	23,424	28,186
有形・無形固定資産	8,809	11,161
投資有価証券	8,214	9,839
その他	6,400	7,185
資産合計	109,887	105,960
負債の部		
流動負債	51,587	52,834
買掛金等	1,762	2,972
未払金	31,163	29,511
未払法人税等	1,050	2,105
返金負債	1,705	1,323
その他	15,905	16,921
固定負債	2,200	2,013
負債合計	53,787	54,848
純資産の部		
純資産合計	56,099	51,112
負債及び純資産合計	109,887	105,960

連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)	2024年3月期	2025年3月期
キャッシュ・フロー計算書		
営業活動によるCF	3,691	△4,675
投資活動によるCF	△2,399	928
財務活動によるCF	△2,360	△4,111
連結キャッシュ・フロー	△1,068	△7,858
現金及び現金同等物に係る換算差額	△142	55
現金及び現金同等物の増減額	△1,210	△7,803
現金及び現金同等物の期首残高	48,143	46,933
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	—	△3,439
現金及び現金同等物の期末残高	46,933	35,690
フリー・キャッシュ・フロー	1,291	△3,747

音楽事業セグメント業績

(百万円)	2024年3月期	2025年3月期	前年同期比	増減率
売上高	115,938	114,574	△1,364	△1.2%
ライブ	44,375	45,571	+1,195	
マーチャンダイジング	6,772	7,465	+693	
マネジメント	7,974	9,706	+1,731	
音楽パッケージ	24,723	21,445	△3,278	
音楽配信	13,007	13,909	+901	
音楽出版	2,927	3,214	+286	
E-コマース	15,305	16,535	+1,230	
ファンクラブ	1,329	1,585	+256	
その他	9,845	8,172	△1,673	
売上原価	82,549	83,829	+1,279	
売上総利益	33,388	30,744	△2,644	△7.9%
売上総利益率	28.8%	26.8%	△2.0pt	
人件費	8,403	7,532	△870	
販促宣伝費	7,234	6,703	△530	
一般経費	8,105	9,029	+923	
GMF（グループ運営負担金）	8,049	8,659	+610	
販管費合計	31,792	31,924	+131	
営業利益	1,596	△1,180	△2,776	—
営業利益率	1.4%	—	—	

注1: 各サブセグメント売上高はサブセグメント内取引を未消去

注2: 2025年3月期においてGMF(グループ運営負担金)の配賦方法および金額を見直しており、前年度の各セグメント営業利益は現在の配賦方法および金額に合わせて一部遡及修正している

アニメ・映像事業セグメント業績

(百万円)	2024年3月期	2025年3月期	前年同期比	増減率
売上高	16,118	18,492	+2,374	+14.7%
パッケージ	2,158	1,835	△323	
ノンパッケージ	13,960	16,657	+2,697	
売上原価	12,324	13,945	+1,620	
売上総利益	3,794	4,547	+753	+19.9%
売上総利益率	23.5%	24.6%	+1.1pt	
人件費	1,207	1,335	+128	
販促宣伝費	855	1,296	+441	
一般経費	671	768	+97	
GMF（グループ運営負担金）	1,077	847	△230	
販管費合計	3,811	4,248	+436	
営業利益	△17	299	+316	—
営業利益率	—	1.6%	—	

注1: 各サブセグメント売上高はサブセグメント内取引を未消去

注2: 2025年3月期においてGMF（グループ運営負担金）の配賦方法および金額を見直しており、前年度の各セグメント営業利益は現在の配賦方法および金額に合わせて一部遡及修正している

その他事業セグメント業績

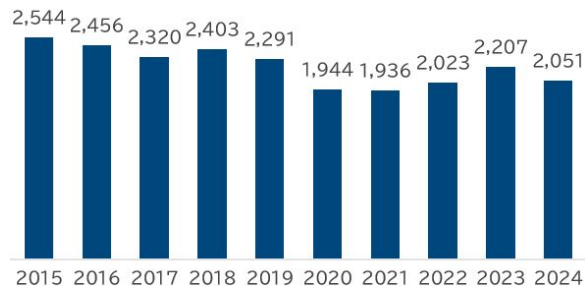
(百万円)	2024年3月期	2025年3月期	前年同期比	増減率
売上高	6,271	4,109	△2,161	△34.5%
売上原価	3,781	2,720	△1,061	
売上総利益	2,490	1,389	△1,100	△44.2%
売上総利益率	39.7%	33.8%	△5.9pt	
人件費	1,141	1,251	+109	
販促宣伝費	77	39	△37	
一般経費	928	943	+15	
GMF（グループ運営負担金）	654	94	△560	
販管費合計	2,802	2,329	△473	
営業利益	△312	△939	△627	—
営業利益率	—	—	—	

注: 2025年3月期においてGMF(グループ運営負担金)の配賦方法および金額を見直しており、前年度の各セグメント営業利益は現在の配賦方法および金額に合わせて一部遡及修正している

関連市場データ

(億円)

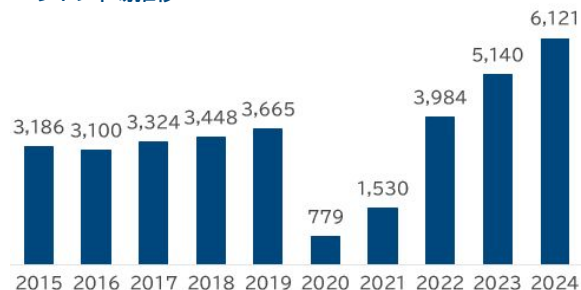
■ 音楽パッケージ市場推移



出典：一般社団法人日本レコード協会

前年比7.1%減と3年ぶりのマイナス推移

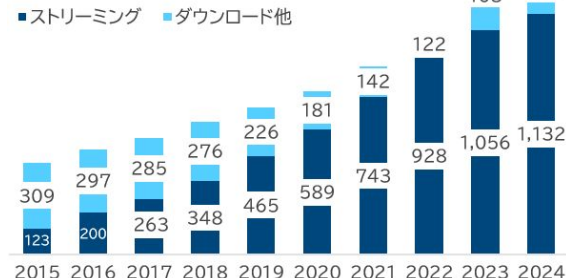
■ ライヴ市場推移



出典：一般社団法人コンサートプロモーターズ協会

関東における新設アリーナ会場の稼働等の影響により、前年比19.1%増と拡大

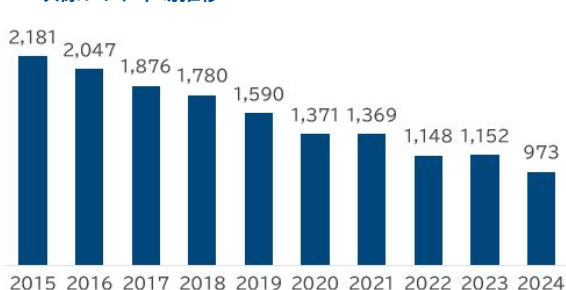
■ 有料音楽配信市場推移



出典：一般社団法人日本レコード協会

ストリーミング市場が前年比7.2%増となり有料音楽配信市場の成長を牽引

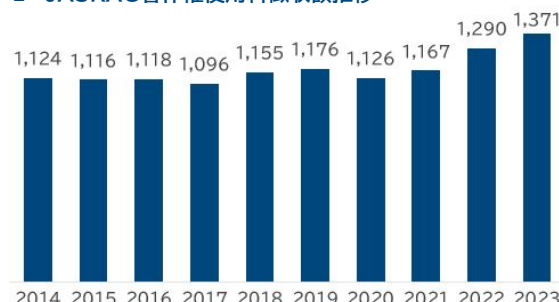
■ 映像ソフト市場推移



出典：一般社団法人日本映像ソフト協会

前年比15.5%減と2年ぶりに減少

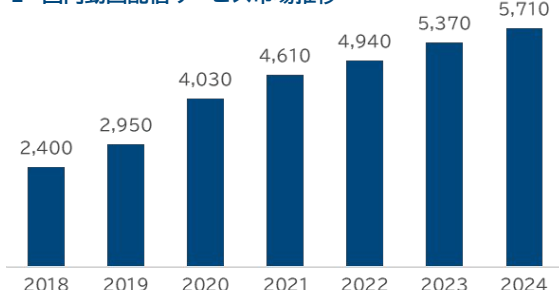
■ JASRAC著作権使用料徴収額推移



出典：一般社団法人日本音楽著作権協会

前年比6.3%増と配信サービスやライブ市場の拡大に伴い過去最高

■ 国内動画配信サービス市場推移



出典：一般社団法人デジタルコンテンツ協会

前年比6.3%増と引き続き成長

免責事項

本資料に記載されている将来に関する内容は、当社グループが資料作成時点において入手可能な情報に基づいたものであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。

特に当社グループの事業領域は、一般的な経済状況以外にも業績に影響を与えうる要因が数多く存在しているため、実際の業績等は、様々な要因により将来の見通しと異なる場合があることをあらかじめご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ先

エイバックス株式会社
経営管理本部 経営管理グループ

<https://avex.com/jp/ja/contact/ir/>

